鎌倉地区産業廃棄物対策協議会

かいほう

NO.37

㈱TBM横須賀工場

Ｊバイオフードリサイクル横浜工場

目　　次

○巻頭言……1
○神奈川県からのお知らせ……2
○鎌倉市からのお知らせ……3
○研修見学会報告……4～5
○事業報告……6
○会員企業紹介……7
○編集後記……7

巻 頭 言

「一年を振り返って」

鎌倉地区産業廃棄物対策協議会
会　長　髙　橋　岳　宏
（三菱電機株式会社　情報技術総合研究所）

会員の皆様におかれましては、日頃より当協議会の活動に対し、ご理解とご協力を賜り、誠に感謝申し上げます。

年始の能登半島地震の被害にあわれた方々に心よりお見舞い申し上げます。寒さの厳しいなか、避難所での生活を余儀なくされている方もいらっしゃいます。被災された方が安心して過ごせる日が１日でも早く訪れることをお祈りしております。

2023 年には、環境に関する法律の改正が多くありました。新たな法律が施行され、環境への配慮がますます重要視されるようになっています。私たちは、これらの法律を遵守し、環境に配慮した活動を推進してまいります。環境への負荷を最小限に抑え、地球温暖化や生物多様性の喪失といった課題に積極的に取り組むことで、カーボンニュートラルやサーキュラーエコノミーといった持続可能な社会の実現を目指すように活動をすすめてまいります。

本年度の当協議会の活動は、コロナへの対策を継続しながらも、当初から対面による会議（総会、理事会、広報部会）を開催することができ、ひとえに、事務局ならびに会員企業の皆さまのおかげと感謝に堪えません。

さらに、本年２月には、「㈱ＴＢＭ横須賀工場」、「㈱Ｊバイオフードリサイクル 横浜工場」のご協力を得て、研修見学会を開催することができました。当日は、参加いただいた方から活発な質問がされ、有意義な研修見学会となりました。

「㈱ＴＢＭ横須賀工場」は、2022 年 11 月に完成した神奈川県横須賀市のリサイクルプラントです。国内最大級の規模を有し、脱炭素社会、循環型社会に向けてマテリアルリサイクルを通じた資源循環モデルを推進しています。

「㈱Ｊバイオフードリサイクル 横浜工場」は、2018 年８月に横浜市鶴見区で稼働を始めたリサイクル発電施設で、微生物の働き（メタン発酵）によって、食品廃棄物から発生させたバイオガスで発電機を稼働させ、再生可能エネルギーとして電力を供給しています。さらに、発酵後の汚泥から肥料生成を行っています。ＳＤＧ’ｓに向けた取り組みが体現されていることを研修見学会で体験することができました。

今後の活動をすすめる上で、より多くの情報を会員企業様にご提供できるように努めて参ります、当協議会へのご支援・ご協力の程宜しくお願い申し上げます。

2024 年度は、さらなる環境保護のための挑戦の年となります。当協議会は、廃棄物処理の効率化など、さまざまな取り組みを進めてまいります。最後になりますが、会員企業様と当協議会の益々のご発展を祈念申し上げ、本誌のご挨拶とさせていただきます。

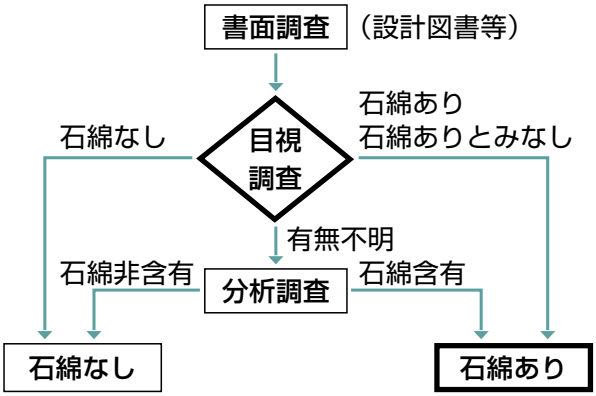
神奈川県からのお知らせ

解体等工事を行う際は、有資格者による石綿調査が必要です。

石綿の飛散防止の徹底を図るため、建築物等の解体・リフォーム（改造・補修・修繕）工事を行う際は、規模、金額によらず、原則すべての工事に対して、石綿の有無について事前調査を行ってください。

1　石綿に関する事前調査

設計図書等の**書面調査＋現地での目視調査**による調査が原則



※書面調査及び現地での目視調査で**石綿含有の有無が不明な場合は、分析調査を行います。**

※**石綿ありとみなして、必要な飛散防止対策を講じて工事を行う場合は分析調査は不要です。**

建築物石綿含有建材調査者に依頼

令和５年10月着工の工事から「**建築物石綿含有建材調査者」による調査が義務化**されています。

○特定建築物石綿含有建材調査者

○一般建築物石綿含有建材調査者

○一戸建て等石綿含有建材調査者
（一戸建て住宅・共同住宅は住戸の内部のみ）

○令和５年９月までに（一社）日本アスベスト調査診断協会に登録された者

事前調査の方法、資格者について、詳しくは環境省ＨＰ「建物を壊すときにはどうしたら良いの？」をご確認ください。

2　石綿に関する事前調査結果の報告制度

工事が以下に該当する場合は、石綿に関する、事前調査結果の報告が必要です。
※事前調査で石綿がなかった場合も、石綿なしという報告が必要です。

工事の対象	工事の種類	報告対象となる範囲
すべての建築物	解体	**解体部分の床面積の合計が 80㎡以上** **※建設リサイクル法の届出要件と同じです**
	改修	請負金額が税込 100 万円以上
特定の工作物	解体・改修	請負金額が税込 100 万円以上

報告制度について、詳しくは、環境省 HP をご確認ください。

報告はパソコン・スマホにて**石綿事前調査結果報告システム「G ビズ」から 24 時間報告できます。**

3　発注者のみなさまへ

○事前調査は、工事の規模や金額にかかわらず、全ての工事が対象ですので、施工業者に対して事前調査の実施状況を確認してください。

○施工業者による事前調査が適切に実施できるよう、石綿の有無を確認する上での有用な情報（建物の図面等の設計図書や過去の調査結果等）の提供や、現場で写真撮影などの調査に御協力をお願いします。

問合せ先：神奈川県横須賀三浦地域県政総合センター環境部環境課　TEL 046-823-0210

鎌倉市からのお知らせ

日頃から、本市のごみ処理施策に御協力いただき、御礼申し上げます。

本市では環境負荷の少ない「循環型社会」を形成するため、市民、事業者、行政が連携・協働して３Ｒを推進し、「ゼロ・ウェイストかまくら」の実現を目指しております。

皆様もぜひご協力くださいますよう、お願いいたします。

■事業系一般廃棄物の処理手数料の改定を行います。

本市では、市内唯一の焼却施設である名越クリーンセンターの老朽化に伴い、令和６年度（2024 年度）内に稼働を停止する予定です。

稼働停止後は新たな焼却施設を建設せずにごみの減量・資源化を徹底し、どうしても燃やさざるを得ないごみについては逗子市、葉山町とのごみ処理広域化により、逗子市の既存焼却施設を中心に処理してまいります。

事業系ごみについては、令和４年（2022 年）６月から民間事業者に委託して事業系一般廃棄物を資源化しておりますが、事業系ごみの減量及びリサイクルを推進するとともに受益者負担の適正化を図るため、令和６年（2024 年）10 月１日から事業系一般廃棄物処理手数料を従来の 10 キログラムにつき 250 円から 10 キログラムにつき 400 円に改定いたします。

■本市における事業系一般廃棄物の状況について

１　事業系生ごみ処理機購入費等補助金交付制度の対象を拡充しました。

本市では、市内事業者のうち生ごみを排出する事業者に対し、事業者における生ごみの自己処理を促すことにより、廃棄物の減量・資源化を図ることを目的として「事業系生ごみ処理機購入費等補助金交付制度」を実施しています。

この度、生ごみ処理機のさらなる普及と生ごみの資源化を促進するため、対象となる生ごみ処理機を拡充しました。対象となる生ごみ処理機は、生ごみを乾燥、発酵等の方法により分解し、減量、消滅又はたい肥化することが可能な機器であって、処理能力が１日に２キログラム以上のものです。（従来は処理能力が１日に 10 キログラム以上）

詳しくは、市ホームページまたはごみ減量対策課（84-8706）までお問い合わせください。

２　事業系ごみの適正処理に御協力ください。

本市の焼却施設に搬入された燃やすごみの中には、「プラスチック類」などの産業廃棄物や「紙類」などの資源物が未だ多く混入されています。ごみを分別し適正に処理することは、事業所においてごみの処理にかかるコストを削減することができるだけでなく、資源の有効活用や処理における環境負荷の低減などにつながります。皆様の御協力をお願いいたします。

研修見学会報告

株式会社ＴＢＭ　横須賀サーキュラー工場及び
株式会社Ｊバイオフードリサイクル横浜工場　研修見学会

■研修日　2024 年　2 月 15 日（木）

■参加者　10名

今回の研修見学会は、まず横須賀市新明町にある㈱ TBM 横須賀サーキュラー工場を訪問しました。

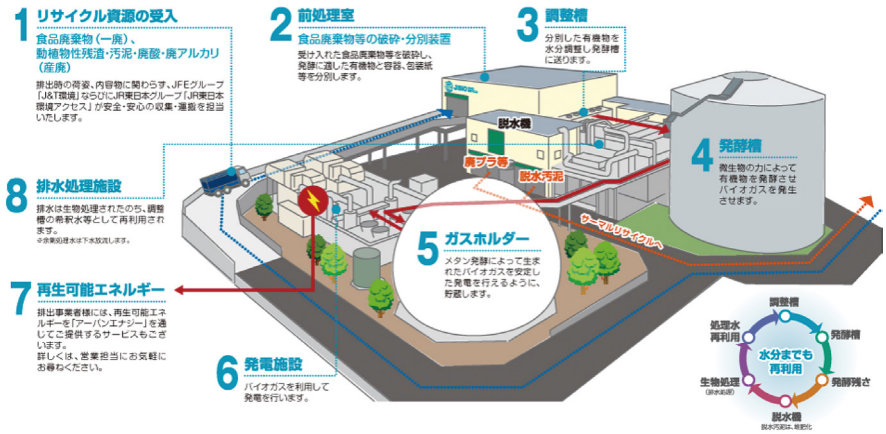
2022 年 11 月から稼働開始とまだ２年程度の最新設備を有するリサイクルプラントになります。

プラスチックのリサイクルプラントとしては現在国内最大級の規模であり、年間処理量は40,000ｔで、再生プラスチック（再ペレット）の生産量は約24,000ｔとなります。

再ペレットの原材料となるプラスチックは横須賀市や近隣企業から持ち込まれており、持ち込まれた廃プラスチックは、選別⇒粉砕⇒洗浄され再ペレットと生まれ変わります。

㈱ＴＢＭは、設立 2011 年東京都千代田区に本社を構え、宮城県多賀城市に自社工場「東北LIMEX 工場」を持ち、ここでは、自社開発の新素材 LIMEX（ライメックス）を生産しています。

LIMEX（ライメックス）は石灰石を主原料にしたプラスチックや紙の代替素材ととしてリサイクル可能な原料です。



次に、横浜市鶴見区にある㈱Ｊバイオフードリサイクル横浜工場を訪問しました。

ＪＦＥグループとＪＲ東日本グループの協業による食品リサイクル＆肥料＆バイオガス発電事業施設です。

該当施設は、2018年２月より食品廃棄物を受け入れ処理を行っています。処理の難しいプラスチックや割りばしなどが混入している食品廃棄物を受け入れ、機械的に有機物のみを分別し、その有機物をメタン発酵させてバイオガスを回収し、ガス発電機で発電し売電しています。

焼却処分と比べるとCO_2の排出量を年間5,500ｔ削減することとなり、地球温暖化防止に貢献しています。

一日の発電量は、1,700万kwh／年で、一般家庭で約5,700世帯分使用電力に相当します。

発酵が終わった有機物は、脱水、乾燥処理を行い肥料へと生まれ変わります。この肥料から野菜を育て、食材･食品となり私たちの元へ戻ってきます。食品ロスとなった廃棄物は、またＪバイオフードリサイクルへと送られループします。

神奈川県内でこの肥料が広く使われる事を願っています。

最後に有意義な研修見学会を企画して頂いた商工会議所の皆様、㈱ＴＢＭ横須賀サーキュラー様、㈱Ｊバイオフードリサイクル様でご対応頂いた皆様、貴重なお時間をありがとうございました。

ナスラック㈱　鎌倉工場
尾崎　直也

事　業　報　告

令和５年（2023年）５月11日（木）
　◎令和４年度収支決算監査
　　会　場　菱栄テクニカ㈱、㈱中川電機製作所（事務局の持ち回り）

令和５年（2023年）５月24日（水）
　◎理事会　　（午後３時30分～）
　　会　場　鎌倉商工会議所

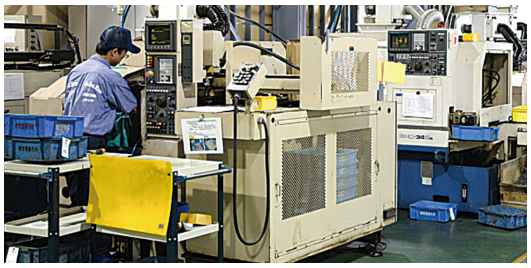
令和５年（2023年）５月24日（水）
　◎第44回定期総会（午後４時～）
　　会　場　鎌倉商工会議所

令和５年（2023年）８月30日（水）
　◎令和５年度 会員名簿を会員事業所に送付、送信

令和５年（2023年）12月20日（水）
　◎広報部会　　（午後４時～）
　◎理事会　　（午後４時30分～）
　　会　場　鎌倉商工会議所

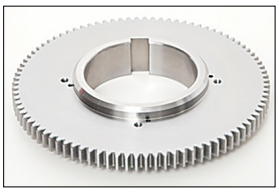
令和６年（2024年）２月15日（木）
　◎研修見学会
　　視察先　①㈱ＴＢＭ横須賀工場
　　②Ｊバイオフードリサイクル横浜工場
　◎交流会（研修見学会 終了後）
　　会　場　慶福楼市場通り店

会 員 企 業 紹 介



わたしたち常盤製作所は、高精度な金属切削・研削加工を得意とし、若い技術者と豊富なノウハウをもとに素材の仕入から完成品までを24時間体制で一貫生産致します。また幅広い協力企業とのスピーディーかつ緻密な連携により、多品種小ロット・短納期生産を可能にします。そして私たちは今、ひとりひとりが「お客様の期待にお応えする。」という大切な気持ちを胸に新しいご期待の実現に向けて取組んでいます。

常盤製作所の主力製品は、農林業に欠かせないチェンソーや刈払機の重要部品です。「切削」「研削」「歯切り」「溶接」「熱処理」「組立」等の幅広いノウハウを結集して生み出されます。



ギア

クラッチドラム

草刈り機（刈り払い機）の先端ギヤーボックス

株式会社常盤製作所
TOKIWA MFG.CO.,LTD.

詳しくはHPをご覧ください。
https://tokiwa-mfg.jp/products/

編　集　後　記

コロナ禍があけて、対面での部会や研修見学会が開催され、今年度は「㈱TBM横須賀工場」、「Jバイオフードリサイクル横浜工場」を訪問することが出来ました。

㈱ＴＢＭ社では、自治体や企業から受入れした廃プラスチックを海外選別機メーカーと独自に開発したプログラムを採用し、近赤外線にてプラスチック種や紙を自動選別する装置を導入し、約2.4万ﾄﾝ／年の再生プラスチック化をされています。

Ｊバイオ社は、自治体や企業から排出される一般廃棄物を活用した、湿式メタン発酵バイオガス発電設備です。ガスエンジン発電機３基、約1,700万kWh/年の能力を有しており、再資源化をされています。

令和５年３月に環境省が公表した令和３年度における一般廃棄物の排出及び処理状況等に関する調査によりますと、鎌倉市のリサイクル率は52.6％であり、人口10万人以上の市の中で全国第１位でした。

本市では限られた資源やエネルギーを有効に活用し、環境への負荷が少ない「循環型社会」を形成するため、リデュース（発生抑制）、リユース（再使用）、リサイクル（再生使用）の３Ｒを推進し、廃棄物の焼却量や埋め立てによる最終処分量を限りなくゼロに近づける「ゼロ・ウエストかまくら」の実現をめざしています。

会報誌では当協会の活動内容をお伝えするとともに、鎌倉市の取り組みやその他の情報も掲載し、少しでも皆様のお役に立てて頂ければ幸いです。また、皆様からのご意見等もお待ちしておりますので、ぜひお寄せくださいますようお願い申し上げます。

広報部会長　日置和利

広 報 部 会

デンカ㈱大船工場	日置　和利	ナスラック㈱ナスラック鎌倉工場	尾崎　直也
㈱鎌倉ハム富岡商会	伊東　大介	三菱電機㈱情報技術総合研究所	高橋　岳宏

発行日／令和６年（2024年）３月31日　編集／鎌倉地区産業廃棄物対策協議会（鎌倉市御成町17-29　TEL 0467(23)2561）